

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜  
令和元年度 事業報告書

1 施設の管理運営・貸出業務

(1) 施設の目的に沿った管理運営

施設の設置目的である「福祉活動、保健活動等に従事する者その他の市民に対し研修、情報の提供等を行い、並びにこれらの者の交流の場及び機会を提供することにより、福祉活動、保健活動等の推進に必要な人材の養成及び確保を図る」(横浜市福祉保健研修交流センター条例第1条)に沿った運営を行うため、福祉保健活動従事者等へ施設を提供しました。

また、ラポール上大岡の整備に伴う改修工事による、一部の研修室の使用中止や、令和元年10月からの研修室2室の新設等について、利用者への周知を速やかに行いました。

ア 目標稼働率

研修室・討議室を合計した貸出状況

	H29年度	H30年度	R1年度
貸出室数(室)	13,958	13,657	11,969
稼働率(%)	63.7	63.1	57.6
平日昼間(9時~17時) 稼働率(%)	73.2	70.6	65.7

第4期指定管理期間の目標稼働率62%及び、平日昼間の目標稼働率73%を達成することができませんでした。

達成できなかった原因として、台風19号の影響により介護支援専門員関連研修が実施できなかったことや年度途中で研修室が2室新設されたが十分な予約受付期間が設けられず利用に繋がらなかったこと、また年度末近くに新型コロナウイルス感染症にかかる利用キャンセルが発生したことなどが考えられます。

イ 施設利用者数

	H29年度	H30年度	R1年度
利用者数(人)	166,433	161,280	139,589

ウ 周知・広報

(ア) 研修室等の利用例を掲載したチラシを、港南区及び金沢区の一般企業等約1,800か所の他、ウィリング横浜が実施する研修の案内(約2,700か所)や研修ニーズの調査(約6,200か所)を市内福祉保健関係施設・事業所へ実施する際、合わせて送付しました。

(イ) 身近な地域における広報として、区社会福祉協議会が実施する、地域の福祉保健活動従事者が参加する会議等にて周知しました。

(ウ) 地域イベント等のチラシに広告を掲載しました。

(エ) 本会の広報紙「福祉よこはま」や地域紙、インターネットの会議室検索サイトへ掲載し、広く周知を図りました。

## (2) 建物・施設の管理

利用者が施設を快適・安全・安心して利用できるよう、施設の維持・保全・管理に努めました。

### ア 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を 33 件行いました。  
臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

また、省エネルギー化を目的に研修室等の照明の LED 化に取り組みました。(研修室内は全て完了)

なお、第 4 期指定管理期間で実施する修繕・備品更新計画に沿った修繕として、12 階のフロアカーペットや 5 階研修室内の壁紙の貼替等に取り組みました。

### イ 清掃・設營業務

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃と定期清掃を実施しました。

また、利用者から机・椅子等の配置や備品の要望を事前に伺い準備し、当日の利用が円滑かつ利用満足度が上がるよう準備しました。

### ウ 警備関係業務

職員による 1 日 2 回の定期巡回の他、建物の警備員による巡回にて施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の確認を行いました。

## (3) 利用者ニーズの把握、苦情対応

### ア ご意見箱の設置

館内に 4 か所設置しているご意見箱にて 8 件 (30 年度 : 10 件) のご意見をいただき、回答を館内に掲示しています。また、寄せられた苦情は 0 件 (30 年度 : 0 件) でした。

### ※ 主なご意見と回答

ご意見 (要約)	回答 (要約)
【利用方法への要望】 (交流スペース) 私用の電話を 1 時間以上している人がいる。携帯電話を禁止にしてほしい。	交流スペースは、誰でも自由に集うことができる場所であるため、利用者に迷惑がかかる使い方をしてる人を職員の巡回等で見かけた際は、注意喚起いたします。
【利用方法への要望】 (情報資料室) ホチキスを使っている人がいて、耳障りである。職員から注意してほしい。	ホチキスの使用については特に制限を設けておりませんが、長時間であるなど気になる場合は、職員にご相談ください。

### イ 窓口満足度調査と利用者アンケート

来館者に対する窓口満足度調査 (11 月) を行い、246 件の回答をいただきました。結果は、職員の身だしなみや言葉遣い、説明の分かりやすさ等の質問に対して、4 点満点中 3.8 点という高い評価をいただき、引き続き利用者本位の接遇に努めます。

また、合わせて利用者アンケートを実施し、日曜・祝日夜間の利用状況等を確認しました。

#### (4) 職員体制・育成

施設運営や事業運営に支障がないよう、職員配置計画通りに配置することができました。

なお、今年度から保健師を配置し、保健分野の研修や情報資料室の蔵書を見直し、拡充しました。

職員育成の取組みとしては、本会が実施する苦情解決研修や接遇研修への参加の他、東永谷地域ケアプラザの協力により、ウィリング横浜独自で人権研修（認知症サポーター養成講座）を実施し、利用者の立場に立った接遇技術の習得に努めました。

## 2 人材育成事業

### (1) 主催研修

福祉保健従事者及び民生委員・児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として72件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の概念普及」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的とした研修を実施しました。

保健分野の研修は、医療機関やカレッジ参画機関との連携等により開催しました。特に保健医療分野の研修の充実を図るため、カレッジ参画機関の協力のもと、年間で17件の研修を実施しました。

また、ウィリング横浜にアクセスしにくいエリアの方々にも参加しやすいよう行っている出張研修について、7件の研修を実施しました。

毎年、研修の企画にあたっては、研修の受講者アンケート、施設・事業者へのヒアリング、横浜市社会福祉協議会他部署のアンケート等を検討し受講ニーズの把握に努めました。研修受講者アンケートの希望から、元年度は「高齢者虐待の防止について」や「ターミナルケア」などを採用し、新規研修として実施しました。

引き続き開催する研修についても、アンケート等の意見を参考に内容等を改善し実施しました。その結果、「オ 受講者アンケート 結果 (P. 7)」にあるとおり、受講者からは97.2%の総合評価をいただきました。

研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	H29年度	H30年度	R1年度
研修件数（件）	63	69	72
研修コース数（コース）	70	82	79
研修受講者数（人）	7,806	4,716	5,527
研修開催日数（日）	93	105	97

※ 平成29年度は全員研修(3,708人受講、民生委員制度創立100周年事業)の開催がありました。

#### ア 組織力を高める：28件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅰ 管理職員研修	1	2	36	14
2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅱ チームリーダー研修	2	4	72	53
3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅲ 中堅職員研修（2コースは出張研修）	2	4	72	44
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅳ 初任者研修～社会人経験者編～	2	4	72	41
5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅴ 初任者研修～新卒者編～	2	6	72	55
6	新卒者向けフォローアップ研修	1	1	55	27
7	トップセミナーⅠ ～法人価値を高める人事管理とキャリアパス構築 のポイントから～	1	1	60	42
8	社会福祉施設の運営基礎 ～信頼関係があってこそ生きる支援～	1	1	36	14
9	チームリーダーのための人材育成研修	1	1	36	39
10	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	59
11	リーダーシップ基礎研修【出張研修】	1	1	36	36
12	後輩育成担当者のためのOJT研修	1	2	36	35
13	後輩育成のためのOJT研修	1	1	36	41
14	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	25
15	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	1	1	36	36
16	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理を目指して～【出張研修】	1	1	36	34
17	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研修	1	1	36	48
18	基礎から学ぶリスクマネジメント研修	1	1	42	48
19	苦情対応基礎研修	1	1	42	36
20	高齢者虐待の防止について	1	1	36	47
21	中堅・チームリーダー職員のための接遇研修	1	1	42	46
22	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み 方研修	1	1	54	42
23	伝える、伝わる記録の書き方研修	1	1	36	61
24	伝える、伝わる記録の書き方研修【出張研修】	1	1	36	25

25	社会福祉法人会計基準対応研修 基礎編	1	2	30	43
26	社会福祉法人会計基準対応研修 応用編	1	2	30	45
27	労務管理研修	1	2	42	40
28	広報力向上研修 ～施設の魅力を情報発信するために～	1	1	36	22
計 28 件		32	47	1,225	1,098

イ 専門力を高める：34件

福祉保健活動従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	〔社会福祉援助技術研修Ⅰ〕 社会福祉援助技術の基礎研修～支援とは何か～	1	1	36	56
2	〔社会福祉援助技術研修Ⅱ〕 面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	1	36	36
3	〔社会福祉援助技術研修Ⅲ〕 アセスメント技術～利用者の生活世界を理解する～	1	1	36	35
4	〔社会福祉援助技術研修Ⅲ〕 アセスメント技術～利用者の生活世界を理解する～ (追加コース)	1	1	36	34
5	〔社会福祉援助技術研修Ⅳ〕 スーパービジョンの基礎技術～援助者の成長を支援するために～	1	2	36	26
6	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	36	53
7	精神障害の理解 ～障害当事者からのメッセージを交えて～	1	1	60	96
8	高次脳機能障害の理解	1	1	60	74
9	福祉保健従事者・活動者のための「グリーンケア」 講座	1	1	40	27
10	ターミナルケア研修	1	1	36	34
11	制度を学ぶ研修Ⅰ～生活保護制度とは～	1	1	60	72
12	制度を学ぶ研修Ⅱ～初めて学ぶ成年後見～【出張研修】	1	1	48	34
13	制度を学ぶ研修Ⅲ～横浜市福祉施策～	1	1	60	75
14	コミュニケーション研修【出張研修】	1	1	50	37
15	プレゼンテーション研修【出張研修】	1	1	42	40

16	プレゼンテーション研修	1	1	48	37
17	ファシリテーション研修	1	2	48	28
18	医療機関との連携の進め方	1	1	36	34
19	口から食べることをみんなで支援しよう！	1	1	50	40
20	こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎～正しい理解と対応～	1	1	50	44
21	子どもの感染症について～適切な対応を行うために～	1	1	70	60
22	薬を知って上手に付き合おう～抗生物質の正しい知識～	1	1	50	44
23	児童精神科医に聞く～子どもの発達障害について～	1	1	50	77
24	糖尿病を知ろう～基礎知識から最新治療まで～	1	1	50	68
25	摂食嚥下のメカニズムと誤嚥予防～組織で取り組む口腔と全身ケア～	1	1	36	41
26	消化器がんと内視鏡治療【市民啓発】	1	1	150	100
27	摂食嚥下のセルフチェックと誤嚥予防体操～健康維持のためのアプローチ～【市民啓発】	1	1	150	148
28	摂食嚥下の見方と誤嚥予防の介助法～要介護者へのアプローチ～	1	1	100	115
29	知っていますか？がんの緩和ケア ①がんの緩和ケアの基礎知識 ②がんの相談支援と緩和ケア【市民啓発】	1	1	150	126
30	摂食嚥下のメカニズム～よく噛んで飲み込む～【市民啓発】	1	1	100	66
31	自分の歯で美味しく食べる～お口の衰え、大丈夫ですか？～【市民啓発】	1	1	100	67
32	高齢者の食支援～食べられない・飲みこみにくいときの食事も含めて～【市民啓発】	1	1	100	43
33	神経再生医療への挑戦～失われた脳神経機能の回復を目指して～【市民啓発】	1	1	100	109
34	備えよう防災～看護師の立場から～【市民啓発】	1	1	100	112
計 34 件		34	36	2,210	2,088

#### ウ 地域力を高める：5件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	社会施設に求められる地域支援とは～地域共生社会における施設の役割～	1	1	36	26
2	小地域福祉活動推進研修（第一分科会）	1	1	1,000	433

3	認知症高齢者のケア～認知症高齢者の日常を支えるケアとは～	1	1	48	59
4	親あるうちの成年後見～横浜市障害者後見的支援制度と成年後見を学ぶ～	1	1	170	77
5	地域福祉つなぎ隊研修	1	2	36	15
計 5 件		5	6	1,290	610

#### エ 横浜市民生委員児童委員研修：5件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

研 修 名		コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地区会長研修	1	1	262	235
2	中堅リーダー養成研修 ④	4	4	262	236
3	主任児童委員研修	1	1	511	362
4	新任民生委員児童委員研修	1	1	1,200	803
5	新任地区会長研修	1	1	66	95
計 5 件		8	8	2,301	1,731

#### オ 受講者アンケート 結果

4段階で評価項目を設定し、受講者からの「4」と「3」の評価を併せた結果、97.2%の総合評価をいただきました。

研修内容の理解度 (%)	97.9
講師の指導方法の適切さ (%)	97.6
研修内容の満足度 (%)	96.5
今後の業務への参考度 (%)	96.8
総合評価 (%)	97.2

アンケート回収率 (%)	97.1
--------------	------

#### カ 研修コンサルティング

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。

・相談受付件数 14件

また、今年度新たな取組みとして、講師情報を提供するだけでなく、施設・事業所の課題や求める研修を丁寧に聞き取り、施設・事業所の研修ニーズに対応した研修プランを提案する研修コンサルティングを試行的に実施しました。

内容としては、「接遇研修」や「クレーム対応研修」など、施設・事業所のニーズに応じた研修プランを提案、講師調整を行い、当日の運営までの支援を行いました。

・対応件数 3法人 4研修

## (2) ハマ・キャリア・ネット

ウィリング横浜が進める研修情報システムとして、ハマ・キャリア・ネットを稼働し、インターネット上での研修案内の公開に加え、WEB 申込システムを稼働しました。

ハマ・キャリア・ネット閲覧数 18,684 件

WEB 申込者数 93 人

## (3) 研修委員会の開催

研修事業をより円滑に進めるために、外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議しました。その結果、応募率の高い研修の追加開催や無料研修の追加開催（横浜市立大学共催研修）に繋がりました。

〔委員構成：学識経験者 2 人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関 2 人、行政関係者 1 人、ウィリング横浜 1 人 計 6 人〕

### <第 1 回>

開催日：令和元年 7 月 3 日（水）

内 容：委員の委嘱について

平成 30 年度ウィリング横浜事業報告（案）について

令和元年度ウィリング横浜研修等事業の年間計画について

出席者：委員 6 人

### <第 2 回>

開催日：令和元年 11 月 20 日（水）

内 容：令和元年度 研修事業中間振り返りについて

令和元年度 各事業の進捗状況について

令和 2 年度 研修計画について

令和 2 年度 選定会議について

出席者：委員 5 人

### <第 3 回>

開催日：令和 2 年 1 月 16 日（木）

内 容：令和元年度 事業等進捗状況について

令和 2 年度 研修計画等について

選定会議について

出席者：委員 6 人

## (4) 福祉保健活動従事者の研修ニーズの把握

福祉保健事業所のニーズを把握するため、「研修等ニーズ調査」を実施しました。分析結果を今後の事業計画に活用します。

### ア 調査対象

利用促進を兼ね、これまでウィリングを利用していただいていたいない団体にも対象を広げて横浜市内 6,227 箇所の社会福祉事業所を対象としました。

### イ 調査方法

配布は調査票を施設へ郵送し、回収は web 回答及び調査票への直接記入の後、FAX にて回収の 2 パターンで行いました。

### ウ 調査票配布期間

令和 2 年 1 月 14 日（火）～ 2 月 10 日（月）

### エ 回答数

694 件（回答率 11.2%）

### 3 よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等の参画機関と締結しました。参画機関間における福祉保健分野の人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力に向けた連絡調整等を目的として、全参画機関によって構成する連絡会議を設置しています。その連絡会議の運営及び事業企画等について検討するため、連絡会議参画機関から選出された参画機関による事業企画分科会を設置しています。

今年度は研修に特化した検討の場として研修企画分科会を新たに設置し、福祉保健従事者向けの研修情報の集約について意見交換を行いました。

#### ア 参画機関数

	H29 年度	H30 年度	R1 年度
カレッジ参画機関数	18	21	21

#### イ よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の実施

「よこはま福祉人材育成指針」の理念に基づき、各参画機関より申請された研修について選定を行い、カレッジ認定講座としました。

講座数	213講座（内、ウィリング横浜主催研修15講座を含む）
受講者	4,368人（内、ウィリング横浜主催研修1,193人を含む）

#### ウ よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参画機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催しました。

〈第1回〉

開催日：令和元年5月28日（火）

内容：よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議代表・副代表の選出について

ウィリング横浜研修委員会 研修委員の選出について

平成30年度よこはま福祉・保健カレッジ事業報告について

令和元年度 事業計画及び事業企画分科会・研修企画分科会について

各機関令和元年度事業計画について

その他

出席者：14機関 14人

〈第2回〉

開催日：令和2年3月13日（金）※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

#### エ よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

（ア）参画機関の専門性を生かしウィリング横浜の主催研修に協力いただきました。

・15件

（イ）参画機関と連携して、人材確保事業として就職支援や定着支援のための講座等を実施しました。

・介護労働安定センター「福祉施設見学会」「合同就職相談会」

### 4 情報収集・提供事業

社会福祉・保健関連分野の図書・資料等を幅広く収集し、整備・保管しました。貸出や館内閲覧等の方法で提供するほか、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用

を行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。

主催研修、資格関連研修において、研修テーマに関連する蔵書リストや新着図書案内を配付し、蔵書の紹介を行いました。受講者の多い研修では、研修会場で本の展示を行い、手に取っていただける機会を提供しました。

企画展では、「民生委員・主任児童委員」「障害」に関連した本を展示し、貸出数の増加につなげることができました。

利用促進のため、研修情報を発信するメールマガジンに新着図書を紹介するとともに、広告を掲載しました。情報資料室内では、新着本や準新着本、「認知症」など研修テーマに合わせた本やDVDの見やすい展示方法の工夫に取り組みました。

#### ア 収集整備状況

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	所蔵数
図書・資料（点）	436	766	579	38,716
合冊製本（点）	69	71	82	5,330
逐次刊行物（点）	819	773	803	22,493
ビデオ・DVD（点）	29	25	13	1,341
合 計	1,353	1635	1,477	67,880

#### イ 利用状況

##### （ア）利用者数・館外貸出数

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
利用者数（人）	9,375	9,898	9,165
貸出数（件）	5,401	6,080	6,396

##### （イ）登録者数

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
登録者数（人）	293	250	220

#### ウ 企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数 （人）
1	5月27日～6月29日	身近な地域の見守り役 民生委員・児童委員について 知ろう！	横浜市民生委員児童委員協 議会共催	217
2	12月3日～12月26日	障害について考えよう	横浜市健康福祉局障害支援 課後援	149

### 5 人材確保・定着支援事業

福祉保健分野における恒常的な人材不足を踏まえ、福祉保健職場の理解促進を目的に福祉の仕事に関する情報提供や施設見学等の各種事業を開催しました。

なお、個別相談については利用実績が少ない状況が続いていることから、今年度末で終了としました。今後は福祉の仕事への理解促進を図るとともに、施設・事業所の支援を図れるよう検討します。

## ア 福祉保健・介護のお仕事個別相談

福祉・介護の求職者等を対象に個別相談を実施しました。

毎週月曜日 14:00～16:00

毎週金曜日 10:00～12:00

開催日数：77日 相談者：52人

## イ 福祉保健人材の発掘

福祉求職者発掘のため、人材確保事業を実施する関係機関と協力し、大学、専門学校、養成校へ訪問し、情報収集を行いました。また、区社会福祉協議会や「よこはま福祉・保健カレッジ」参画団体の求職支援事業に協力しました。

### (ア) 区社協就職相談会

5区【泉区、戸塚区（2回）、港南・南・磯子区合同】

相談会参加者 189人 うち個別相談者 58人

### (イ) 学校訪問

1件（関東学院大学）

### (ウ) その他

職業訓練事業所主催実務者研修受講者相談：42人×1回

職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会：39人×2回

## ウ 福祉のしごと☆魅力発見！事業

福祉の仕事に対する理解を深めるとともに、求職者を発掘し人材確保に繋げることを目的として、福祉業界への就労に興味・関心のある方を対象に、福祉施設の見学と採用担当者及び職員との交流を行うとともに福祉職場最新情報をお伝えする等、就労に向けた情報提供を行いました。

・福祉施設見学会開催日：令和元年6月21日（金）・令和元年7月5日（金）

施設数：10施設

参加者：41人（延べ81人）

## エ 福祉施設・事業所等の訪問

次を目的に市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

(ア) ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知

(イ) 人材確保や育成状況及び施設内外の研修受講実績等の把握

(ウ) 個別相談に活用するための求人・採用実態、職員構成等の情報収集

(エ) 「ウェルじゃん」の周知及び活用促進

(オ) 人材定着の施策、工夫についての情報収集

・訪問件数 6件

主な意見

・看護や医療面の研修については、最新情報や知識を得る研修を期待する。

・接遇研修は行政主催研修では実施していないため、実施して欲しい。

## オ 福祉保健交流スペース「ウェルじゃん」の運営

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として、次のとおり運営しました。

(ア) 「福祉・介護のお仕事 個別相談」（再掲）

(イ) 書籍コーナー、広報紙・イベント情報コーナー、情報交換コーナーの開設

(ウ) 求人情報提供コーナーの開設

福祉関係の求人情報を提供しました。

- ・登録法人数： 17 法人
- ・求人情報提供数： 332 件

## 6 研究事業

横浜市における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を募集し、情報を提供しました。個々の調査研究活動を支援することで、横浜市内の福祉保健サービスの向上に取り組みました。

### ア 自主調査研究活動に対する支援

調査研究団体に対して研修情報や研究発表の場を提供する等、調査研究活動の支援を行い、新たにウィリング横浜の主催研修への参加の機会や周知活動の機会等の提供を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、情報資料室と共催で行う予定をしていた企画展でのパネル発表は実施できませんでした。

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
登録団体数 (団体)	8	3	2

## 7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業

こころの相談室を運営しています。

福祉保健関係者の抱える問題の解決や心理的負担の軽減を図り、福祉保健関係者がより充実した活動ができるようになることを目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。ネットへアクセスしやすいように、令和元年度から二次元コードを添付したチラシに変更し、市内の施設・事業所等約 2,700 か所へ配布しました。また、利用促進を目的として、広告の掲載を行いました。

30 年度までは、従事者は本人およびその関係者までが対象であり活動者は本人のみが対象となっていました。令和元年度からは従事者同様に活動者も関係者までを相談対象とし、相談事業を実施しています。

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
開設日数 (日)	146	146	132
利用件数 (件)	156	176	143

令和元年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 指定管理事業収支決算書

収入

項目	予算	決算	差額	備考欄
受託金収入	165,950,000	165,948,757	1,243	
横浜市指定管理料	165,950,000	165,948,757	1,243	
事業収入	70,819,000	60,505,530	10,313,470	
参加費収入	8,746,000	8,512,520	233,480	研修参加費
利用料収入	62,000,000	51,943,400	10,056,600	研修室等利用料等
手数料収入	73,000	49,610	23,390	
負担金収入	908,000	707,110	200,890	
利用料等負担金収入	478,000	441,370	36,630	コピー機利用料
負担金収入	430,000	265,740	164,260	研修テキスト代等
雑収入	2,547,000	2,509,449	37,551	自動販売機販売手数料等
法人会計より負担	23,069,000	22,239,001	829,999	
収入計	263,293,000	251,909,847	11,383,153	

支出

項目	予算	決算	差額	備考欄
人件費支出	129,833,000	129,709,229	123,771	
職員給料支出	68,208,000	60,955,519	7,252,481	
職員俸給	57,122,000	51,224,900	5,897,100	
職員諸手当	8,748,000	7,729,713	1,018,287	
通勤手当	2,338,000	2,000,906	337,094	
職員賞与支出	16,866,000	15,306,779	1,559,221	
非常勤職員給与支出	29,709,000	35,936,338	△ 6,227,338	
法定福利費支出	15,050,000	17,510,593	△ 2,460,593	
事業費支出	123,957,000	109,060,324	14,896,676	
水道光熱費支出	27,938,000	22,638,430	5,299,570	
消耗品費支出	4,118,000	3,803,583	314,417	事務用品等
器具什器費支出	1,510,000	2,300,351	△ 790,351	椅子、パソコン等
保険料支出	150,000	88,502	61,498	施設賠償保険等
賃借料支出	2,361,000	1,245,916	1,115,084	図書管理システム用機器、AEDリース等
諸謝金費支出	5,339,000	5,048,520	290,480	講師謝金等
旅費交通費支出	345,000	198,443	146,557	職員業務出張旅費
印刷製本費支出	1,391,000	1,368,983	22,017	研修資料印刷費等
修繕費支出	7,550,000	5,312,200	2,237,800	館内設備修理
通信運搬費支出	2,190,000	2,844,137	△ 654,137	研修受講通知等送付、電話料金等
会議費支出	295,000	60,000	235,000	費用弁償等
広報費支出	802,000	301,200	500,800	貸会議室広告掲載費等
業務委託費支出	55,069,000	48,810,859	6,258,141	施設保守管理費等
手数料支出	2,043,000	1,702,149	340,851	振込手数料等
租税公課支出	10,456,000	11,297,269	△ 841,269	消費税等
蔵書購入費支出	2,400,000	2,036,782	363,218	情報資料室図書等購入
雑支出	0	3,000	△ 3,000	
事務費支出	1,587,000	1,244,807	342,193	
福利厚生費支出(事務費)	426,000	393,189	32,811	健康診断費用等
研修研究費支出(事務費)	178,000	180,500	△ 2,500	
事務消耗品費支出(事務費)	126,000	180,497	△ 54,497	
通信運搬費支出(事務費)	46,000	49,135	△ 3,135	
広報費支出(事務費)	30,000	92,400	△ 62,400	
業務委託費支出(事務費)	80,000	18,548	61,452	
賃借料支出(事務費)	555,000	253,954	301,046	
保守費支出(事務費)	136,000	66,584	69,416	
諸会費支出(事務費)	10,000	10,000	0	
負担金支出	7,000	99,560	△ 92,560	
固定資産取得支出	0	378,000	△ 378,000	聴能設備機器等
事業区分間繰入金支出	7,909,000	11,417,927	△ 3,508,927	
支出計	263,293,000	251,909,847	11,383,153	

収入計-支出計	0	0
---------	---	---